

(別紙8)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	0173100363		
法人名	有限会社 シルバープラン		
事業所名	グループホーム プランタン びえい		
所在地	上川郡美瑛町大町2丁目5番14号 (電話) 0166-92-5680		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年12月3日	評価確定日	平成20年2月5日

【情報提供票より】(19年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成17年10月21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤6人, 非常勤13人, 常勤換算10.56人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円) ☐ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ☒ 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(平成19年 11月15日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	2名	要介護2	5名
要介護3	6名	要介護4	5名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 83 歳	最低 66 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美瑛町立病院、美瑛循環器内科クリニック、東郷整形外科、山崎歯科、
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に恵まれた閑静な住宅街にあり、2ユニットの平屋建てのグループホームです。代表者は地域の介護施設の待機者が大勢いるということで、入居希望者が料金面で安心して入れる施設を作り、地元へ貢献したいという使命感を持って開設した施設です。ホーム内は明るくバリアフリーの構造となっており、厨房に立つ職員から目がよく行き届くようになっています。利用者も職員も明るくよく会話がなされ、家庭的な雰囲気が伝わっています。施設長(管理者)は施設の改善に意欲的で、職員と一丸となって前回評価での改善点はすべて改善されています。
--

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で指摘された点については、権利について契約書に示すこと、日中鍵を掛けないこと、職員と利用者が一緒に食事をするなど、すべて管理者、職員が話し合い、改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全体から話を聞き、管理者、計画作成者が自己評価をまとめて作成しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	今年3回の運営推進会議が町内会副会長、民生委員、地域包括センター職員、家族、職員が参加して開かれています。ホームの運営方針、理念、年間行事、利用者の日常生活、自己評価の結果などが報告され、地域住民や包括センター職員、家族からの質問、応答が交わされ、地域の事業所に対する理解と運営に対する協力体制が構築されつつあります。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関に「意見箱」を設置したり、運営推進会議を通して家族からの意見、要望を引き出そうとしています。又、会議に参加できなかった家族に運営推進会議の報告とともに、アンケートを配布し、意見を伺い、ケアに活かそうとしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し地域の行事に参加したり、散歩を通して徐々に交流が築かれています。「子供110番の家」になっていることで子供達が立ち寄り、家族介護教室を開催し、地域の人達の参加を呼びかけ地域との協力関係を築こうとしています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を見やすい所に掲示し、職員と日々理念の実践に努力されている。開設当初より地元に貢献したいとの強い思いが構築されており、今年度は、業務改善会議において判りやすい利用者本位の見直しの検討も行なわれ、職員とともに地域と利用者が普通に暮らせる支援が行なわれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有するため朝礼のときに唱和し、いつも念頭に置きながら実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、玄関前に花を植え、ベンチ、自販機を設置し、地域の方が立ち寄りやすい雰囲気をつくり、地域の方と入居者との交流の場作りをし、徐々に交流が構築されつつある。また、町内行事に参加したり、「子供110番の家」として子ども達の安全の場所として貢献している。		
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での改善課題は職員全員で取り組み、すべて改善されている。今回の自己評価も職員全体で取り組み、ケアの振り返りや見直しがなされ、具体的な改善に取り組んでいる。		

美瑛町 グループホーム プランタンびえい

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月に第1回の運営推進会議が開催され、以後2ヵ月毎に開かれている。ホームの概要や運営状況、年間行事、自己評価の結果などが、報告され、地域住民や家族からの質問、意見が交わされている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には、市町村職員、包括支援センターの職員が必ず出席され、また、毎月開催される包括支援センター主催の地域サービス事業者が集まる「地域ケア会議」にも出席し、他施設との情報交換を行ない、協力関係は構築されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月利用者の状況や、金銭出納帳を家族に報告している。「暮らしの便り」を年に数回発行し、ホームの様子を家族に知らせている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「意見箱」を設置しているが、利用はない。家族が訪問した時に、管理者や職員に気兼ねなく意見や要望が言える雰囲気作りはできあがっている。苦情や要望についても運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が長く勤務できるように個別面談をしたり、親睦会を開き離職を防ぐようにしている。止むを得ず離職となる場合には、利用者が不安にならないように、新しい職員を利用者に紹介し引き継ぎを行なっている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、研修の重要性を認識し、年に1回は職員全員が外部研修に参加できるように、配慮している。また、職員が資格をとりやすいように環境を整え応援している。職員全員が救急救命と、認知症の講習を受けており、内部研修も必要に応じて行なわれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一グループ内での勉強会や相互訪問が行なわれ、情報交換を行なっている。グループ協議会を通じ勉強会や講習会に参加し、意見交換を行ないサービスの向上に活かしている。しかし、ほかのグループホームとの交流は行なっていない。	○	同一グループの事業所だけではなく、ほかの事業所との交流を図る機会を設け、職員のスキルアップに役立てて頂きたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、利用者、家族と面談し、ホームを見学して頂き、納得のうえで入所されている。希望者には体験入居も可能となっている。また、家族にホーム独自の居宅サービス依頼書の記入をお願いし、より細かな情報収集に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの得意なこと、興味のあることを把握し、活躍できる場面を見つけ支援している。利用者の経験から漬物作り、味付けや畑の植え付けなどを利用者から教えてもらい、ともに支えあう関係を構築している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前に家族や利用者から情報収集を行ない、利用者に合わせた介護計画を作成している。また、日々の寄り添うケアの中で気付いた希望や意向を、介護記録に記載し、検討のうえ介護計画に反映している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	日々の介護日誌記録と職員全員の意見をもとにカンファレンスを行ない、家族の要望も含めて介護支援専門員が介護計画を作成している。サービス計画書は家族に説明し、確認してもらっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎にモニタリングを行ない、介護内容の確認を行なっている。状況に変化があるときは、その都度介護計画を見直し、新たな介護計画が作成されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に合わせて、通院介助や買物、散歩の同行、行き付けの理美容院の同行などに対応している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や本人の希望する医療機関、協力病院への通院や受診を行なっている。受診内容はその都度家族に報告されている。看護師が2名配置されており、健康状態が常に把握されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針を作成し、終末期のあり方について、職員研修を行なうとともに、家族にも説明して同意を得ている。また、主治医とは、家族同席のもと話し合い、事業所としてできること、できないことを説明し、終末期の確認をしている。		
「終末期におけるミトリ介護					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳や誇りを尊重し、職員間で常に言動に注意している。また、個人情報などの書類は個別に保管し、個人情報とは他言しないことは職員間で遵守事項として認識している。	○	玄関の面会簿については、利用目的の表示を行ない、個人票にするなど対応策の検討を期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に対するケアは、ホーム側の都合に合わせるのではなく、利用者に希望に添ってその人らしい、生活が送れるように支援している。		

美瑛町 グループホーム プランタンびえい

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握して、献立会議を開き、利用者の希望に添った食事が提供されている。職員と一緒に食事をし、準備や後片付けも一人ひとりの力量に合わせて一緒に行なっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回と回数は決まっているが、9時から4時の間の自由な時間に入浴出来るようになっている。必要に応じ清拭やシャワー浴の対応も行なわれている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日2時から4時の間はレクリエーションの時間とし、カラオケや工作、お話ボランティア、踊りのボランティア、ボーリングなど利用者が楽しめるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	夏場はできるだけ戸外に出てもらうように、天気の良い日には近隣を散歩し、月2～3回は、買物ツアー、ドライブなど、遠出をしている。		
tua					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを設置し、職員が見守り、朝8時から午後17時までは鍵を掛けない取り組みをしている。出掛けようとされる利用者には、さりげなく声掛けを行ない一緒に出掛けている。夜間は施錠している。		

美瑛町 グループホーム プランタンびえい

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡網も作成され、年2回避難訓練、通報訓練、消火訓練を行ない、緊急時に備えている。、災害時の地域の協力依頼、緊急体制もできている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量、食事量などは個別に把握されており、職員は情報を共有している。また、栄養士による研修会を行なって、栄養バランスや必要量を確保する工夫も行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは明るく広く、ゆったりとしており、外の景色が中から見え、開放的である。厨房から、居間、居室、トイレ、玄関が見渡せ、利用者の様子がわかり、安心した作りになっている。季節感を表す装飾が施され、暖かい雰囲気を醸し出している。気になる臭いはまったくなく、光や音なども適時調節されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者本人が使い慣れたなじみの家具や装飾品、写真が飾られ、居心地よく過ごせる工夫がなされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。